

車いす交換役立てて

リングプル11^キ言泉学園贈る 室蘭社協に



リングプルを受け取った米野事務局長（右）と寄贈した
室蘭言泉学園の職員2人

室蘭市母恋北町の社会福祉法人室蘭言泉学園は10日、リングプル11^キ4^口を市社会福祉協議会に寄贈した。受け取った米野弘一事務局長(63)は「たくさん集まれば、車いすと交換できるので大変ありがたい」と喜んだ。

聴覚障害や知的障害を有する子どもから成人まで支援している室蘭言泉学園は、社会貢献活動の一環として昨年9月からリングプルの収集をスタート。職員約210人と施設利用者200人余りに加え、近隣住民の協力を得て集めた。寄贈した本部事務局の高橋美帆さん(28)と西村優樹さん

(26)は「本来であれば捨てるものだが、室蘭の福祉向上に役立ててほしい」と話した。

同社協は2011年(平成23年)からリングプルを収集している。江別市野幌商店街の有志で運営するリングプル再生ネットワークに計600^キ以上送ると、車いす1台と交換でき、10年間で計5台受け取った。在宅で介護が必要な高齢者などに無料で貸し出している。

リングプルの寄贈希望者は同社協玄関内に収集箱を設置しており、誰でも寄贈できる。(伊藤真史)